



自社に最適のワークフローや管理システムを開発

# Power Appsで生産性向上を実現した 4つの企業事例

# はじめに

少子高齢化が進む日本では、人口減少による将来的な労働力不足の問題が深刻化しています。

企業の経営層も限られた労働力で生産性を高めていくことを重視し、現場では効率化による残業代の削減や人件費の抑制への取り組みが進んでいます。しかし、こうした取り組みは人員削減や給与削減だけフォーカスされてしまい、本質が伝わらないまま結果的にうまくいかないケースも多いでしょう。

生産性を向上させるためには、業務を効率化し、余った労働力で企業として新たな価値を生み出す仕組み作りが重要です。

本資料では、生産性向上に課題がある企業が Power Apps を使って解決した事例をご紹介します。業務効率化、生産性向上を目指す企業の担当者の方はぜひ参考にしてみてください。

## CONTENTS

2025年の崖？ 企業のDXは不可欠に .....	2
せっかく導入したシステムが活用されていない？ .....	3
Power Apps が社内のデジタル化を推進し、生産性向上を実現する .....	4
<b>Power Apps で生産性向上を実現した4つの成功事例</b>	
Case.1 ワークフローシステムを刷新！ .....	6
Case.2 システム乱立の混乱を解決！ .....	8
Case.3 超アナログからの脱却！ .....	10
Case.4 ナレッジの共有で提供するサービスが高品質化 .....	12
<b>Power Apps で会社を変える テクバンの支援サービスとは</b>	
アウトソースor内製 どちらにも対応できるテクバンのサービス .....	15
アウトソース向けサービス .....	16
内製向けサービス .....	17

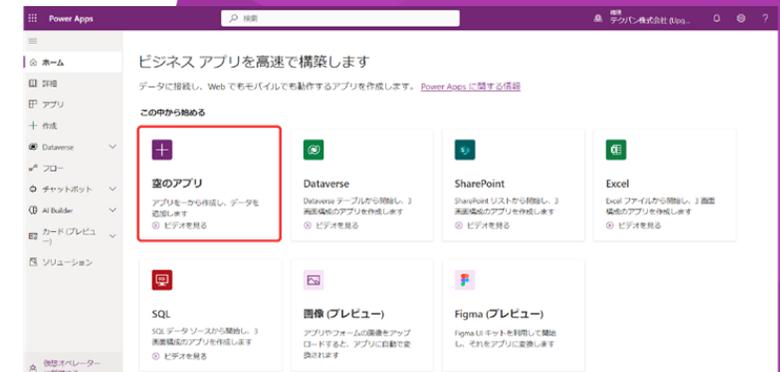
# Power Apps が社内のデジタル化を推進し、生産性向上を実現する

## 自社にぴったりのシステムを簡単に開発できる

既存のお仕着せのサービスでは、社内の動きや従業員の仕事をシステム側に合わせる必要があります。これは、システム化が進まない要因の一つと言われており、こうした課題を解決するには、自社に合ったサービスやシステムを簡単に開発できる仕組み、導入後のメンテナンス、改善が簡単にできる仕組みが必要です。

マイクロソフト社が提供する Power Apps は、こうした悩みを解決するクラウドサービスです。ノンプログラミングで業務アプリを簡単に作成することができます。

テクバンでは Power Apps の導入、開発支援、運用サポートサービスを提供しています。次項からは実際に Power Apps を使って生産性向上を実現した事例をいくつかご紹介します。



# Case.1 ワークフローシステムを刷新で、 ビジネスチャンスを逃さないように！-1（課題編）

運用ルールに合わないシステム導入で大失敗

業種：自動車部品メーカー 企業規模：約1,000人

国内有数の技術力を誇り、大手自動車メーカーと提携するA社では、Microsoft 365 のドキュメント共有を利用して、見積書や発注書などを作成し、上司の承認申請を行っていました。

しかし、ドキュメント共有はもともとワークフローを想定したものではないため、部署によってフォーマットが異なったり、承認状況のステータスが分からなかったりと、社内から不満の声が上がっていました。

これを踏まえて、既存のワークフローシステムを導入しましたが、システムに合わせると従来の社内ルールと異なる部分が生じ、社内に浸透しないままとなっていました。

その結果、営業からの見積承認や工場からの原材料発注の見積承認などに時間がかかってしまい、失注するケースも増えていました。